



nichicon
MAGAZINE
ニチマガ

こんにちは！蓄電のニチコンのメールマガジン、ニチマガです。
ニチコンの蓄電システムに興味をもっていたいただいたお客さまや
お見積もり依頼をいただいたお客さまに、
電気をかしこく使うためのホットなトピックスを毎月お届けします。

あと10年以内に ガソリン車の 新車販売が禁止に なるって本当？

いつもニチマガをご愛読ありがとうございます。

12月初旬に飛び込んできたニュースをご存知ですか？それは「経済産業省が2030年代半ばに国内の新車からガソリン車をなくし、すべてをハイブリッド車や電気自動車などにする目標を設ける方向で調整している」というもの。今回のニチマガはいつもの蓄電システムのお話ではなく、電気自動車（EV）のお話です。

国が進める“脱ガソリン”

前回のニチマガでも特集した、菅総理大臣の「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」考えを受けて、経済産業省は新車販売における「脱ガソリン」の目標を検討しています。それが、「2030年代半ばに、電動化を100%にする」こと。つまり、2030年代半ばには、新たに販売されるガソリン車はなくなるかもしれないということです。

さらに、東京都の小池都知事は、12月8日の都議会で「都内で販売される新車について、2030年までに脱ガソリン車とする」という方針を表明しました。国に先行して、ガソリン車禁止を前倒すことを明言したかたちです。

では、これから選ぶべきクルマは？

これからのクルマはどのようになっていくのでしょうか。10～15年後、新車の販売ではガソリンエンジンだけの車はゼロになり、すべてが「電動車」に。電動車には、エンジンとモーターの両方を使うハイブリッド車、充電もできるプラグインハイブリッド車、電気自動車、それに、水素で発電しながら走行する燃料電池車が含まれます。これらの普及拡大は太陽光発電や蓄電システムの普及とともにCO2削減の重要な手立てであり、温暖化・気候変動をストップするはじめの一歩になります。

蓄電システムのトップメーカーとして

ニチコンは、蓄電システムのトップメーカーとして、さまざまな活動を通して電気自動車普及への貢献を目指しています。そのひとつが、JAPAN EVラリーへの協賛。国連が定めるSDGsの理念に沿った、CO2削減と地球温暖化防止のためのアクションで、EVやPHVのオーナー、国内外の自動車メーカー関係者が全国各地から長野県白馬村に集まり親交を深めるイベントです。

去年は、当社は「COOL CHOICE 給電屋台コーナー」に出展。電気自動車からの電力で淹れたコーヒーをふるまい、全国からの参加者の皆さんと交流を深めながら、体を温めていただきました。

電気自動車を停電時などの電源として使うなど、関心が急速に高まっていると感じました！



当社デモコーナー【ニチコンCAFE】

電気自動車を検討するなら…

電気自動車が当たり前になる時代に先駆けて、蓄電システムをご検討の方におすすめしたいのがニチコンのトライブリッド蓄電システム。太陽光で作った電気で、電気自動車を動かしたり、電気自動車の電気を家庭で使ったりと、まさに自由自在。これからの暮らしの必需品となるかもしれません。

蓄電システムは、長く使うものだからこそ、将来のことまで考えて選ばなくてはなりません。ぜひトライブリッド蓄電システムをご検討ください。

電気自動車をご検討の方に
トライブリッド蓄電システム



銀シャリ × ニチコン コラボ movie



トライブリッド蓄電システム movie



nichicon NEWS

【令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰を受賞】

「蓄電システムや次世代自動車用の急速充電器等、リーディングカンパニーとして自立型エネルギーシステムの構築への寄与」を受賞理由として令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰を受賞いたしました。今後も社会の抱える課題を解決し、明るい未来社会づくりに貢献してまいります。

詳しくはこちら



もっと詳しく知りたい方はこちら。



各種お問い合わせはこちら。



nichicon LINEUP

すでに太陽光パネルをお持ちの方に
単機能蓄電システム

新築の方、太陽光パネルをご検討の方に
ハイブリッド蓄電システム

電気自動車をご検討の方に
トライブリッド蓄電システム

手軽に最小限の電力を確保したい方に
ポータブル蓄電システム

次号も、電気や電力に関するお役立ち情報をお届けします。お楽しみに！